

はじめに

最寄りの避難所と避難所までの経路を家族みんなで確認して、表面の「わが家の防災メモ」に書き込みましょう。

マップの注意点

この地図は、関市に影響を及ぼすと考えられるため池の堤防が決壊した場合に、市民のみなさんの避難に役立つように作成したものです。雨の降り方や地震の状況によって、決壊場所などの条件も異なりますので、浸水想定区域が実際と異なる場合もあります。また、大雨の時には、ため池以外に河川や水路などによる氾濫が発生することも十分に考えられます。

このマップをみて、自分の家が浸水想定区域に入っていないからといって、決して安心できません。浸水想定区域内にお住まいの方はもちろんのこと、それ以外の場所にお住まいの方についても、浸水に備えて事前に避難所や避難経路を確認しておきましょう。

地図の浸水規定区域は、ため池の堤防が決壊した場合の最大浸水深で表示しています。決壊したときのため池の水位の設定は、満水位としています。なお、堤防の決壊場所は、影響が最も大きいと考えられる箇所を各池ごとに1箇所ずつ選定することを基本としています。

緊急時の連絡先など

● 公的機関の連絡先

緊急時の連絡先	
関市災害対策本部	0575-22-3131
消防署	119番
警察署	110番

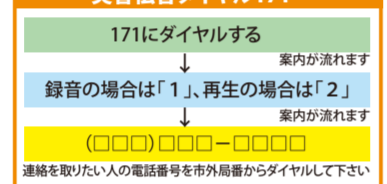
● 関市防災情報

防災のてびき
<http://www.city.seki.lg.jp/category/4-1-2-0-0.html>
 気象河川情報
<http://www3.city.seki.gifu.jp/bousai/>
 関市あんしんメール
<https://service.sugumail.com/seki-anshin/>

● 災害時の安否確認方法

大規模災害発生時には、安否確認方法として、音声により伝達する「災害用伝言ダイヤル」や携帯電話会社のホームページを利用した「災害用伝言板」が使えます。災害発生地域の方が自分の安否情報を登録しておくことにより、全国何処からでも安否情報を確認することができます。

災害伝言ダイヤル171



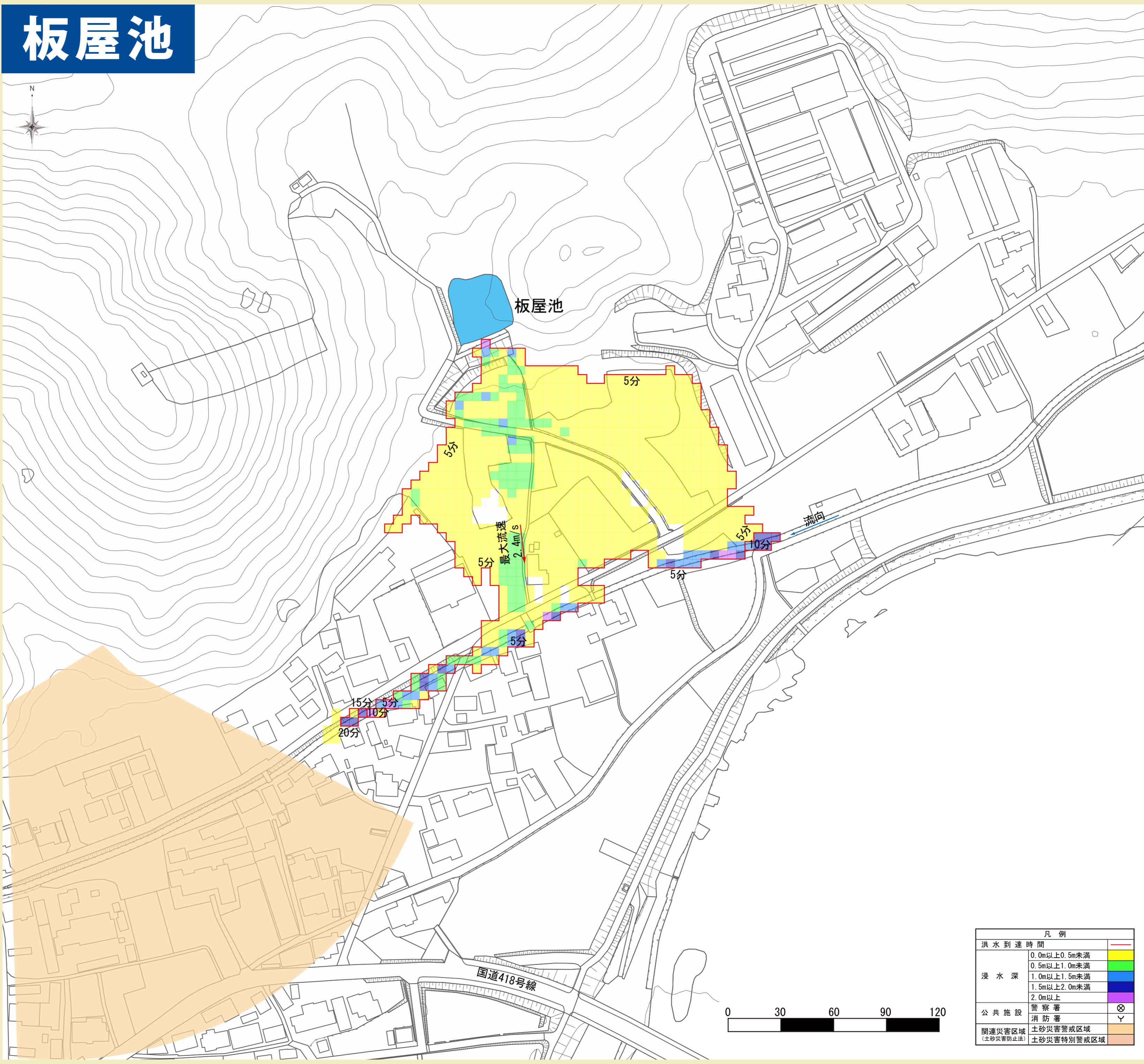
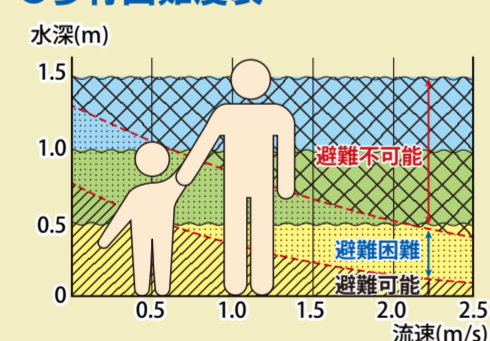
● マップ記号の意味

- ① 浸水がない または浸水25cm以下(床下がつかかる程度)の避難所
- ② 浸水25cm以上が予想されるが、2階以上は使用できる避難所
- 🏠 災害時要援護者関連施設 (幼稚園・福祉施設等)
- 🏢 防災備蓄倉庫

● マップの浸水深別色分け



● 歩行困難度表



凡例	
洪水到達時間	—
浸水深	0.0m以上0.5m未満
	0.5m以上1.0m未満
	1.0m以上1.5m未満
	1.5m以上2.0m未満
	2.0m以上
公共施設	警察署
	消防署
関連災害区域 (土砂災害防止法)	土砂災害警戒区域
	土砂災害特別警戒区域